

事務連絡
令和4年5月18日

小学校及び中学校（国語）教諭一種・二種免許状の
教職課程を置く

各国公立大学
指定教員養成機関 教職課程御担当課 御中

文部科学省総合教育政策局教育人材政策課

「小学校及び中学校（国語）教諭一種・二種免許状の教職課程における
書写の取組状況」に関する調査結果の送付について

平素から教員養成に御尽力いただき、誠にありがとうございます。

昨年度末に御回答いただきました標記調査につきまして、別添のとおり結果
を取りまとめましたので、お送りいたします。

小学校及び中学校（国語）教諭免許状の教職課程を置く各国公立大学及び指
定教員養成機関におかれましては、新学習指導要領を踏まえ、本調査結果も参考
にしつつ、書写に関する実技の充実を図るなど、より実践的な教育内容の充実に
努めていただくようお願いいたします。

本件担当

文部科学省教育人材政策課

教員免許企画室教職課程認定係

Tel : 03-5253-4111（内線：2453）

Mail : kyo-men@mext.go.jp

小学校及び中学校（国語）教諭一種・二種免許状の教職課程における書写実技の取組状況
について（令和4年3月31日時点）

- ・調査対象：小学校及び中学校（国語）教諭一種・二種免許状の教職課程を置く
大学等361校の545学科等（回答率：83.1%）
・調査期間：令和4年3月17日～30日

小学校教諭一種・二種免許状の教職課程における書写の取組状況

対象の大学等数及び学科等数：269校302学科等
回答のあった大学等数及び学科等数：237校251学科等

問1：小学校の教職課程における教科に関する専門的事項に関する科目「国語」の必修科目（選択必修を含む。）において書写を扱っている時間のなかでの実技の取組の有無

	回答学科等	251学科等に対する割合	(参考) 前年度の状況
①実技の取組あり	216学科等	86.1%	83.3%
②実技の取組なし	35学科等	13.9%	16.7%

問2：問1で①を選択した場合の実施している取組に含まれる取組（複数回答可）

	回答学科等
①硬筆による取組	187学科等
②毛筆による取組	125学科等
③筆ペンによる取組	33学科等
④水書用筆による取組	47学科等
⑤その他の取組	18学科等

問3：問2で選択した「⑤その他の取組」の概要（自由記述）

- 黒板による板書指導
○消しゴム篆刻印づくり

問4：問1で②実技の取組なしを選択した大学等における実技の取組を実施できない理由（自由記述）

- 授業時間が限られている中で、実技を組み込むことが難しいため。
○感染症対策のため、オンライン授業が中心となり、実技を取り入れた授業ができなかったため。

※書写に関する授業を選択科目として開講している、教科の指導法で実技を取り組んでいると回答した学科が複数あった。

問5：小学校の教職課程における各教科の指導法に関する科目（国語）において書写を扱っている時間のなかでの実技の取組の有無

	回答学科等	251学科等に対する割合
①実技の取組あり	146学科等	58.2%
②実技の取組なし	105学科等	41.8%

問6：問5で①を選択した場合の実施している取組に含まれる取組（複数回答可）

	回答学科等
①硬筆による取組	122学科等
②毛筆による取組	59学科等
③筆ペンによる取組	21学科等
④水書用筆による取組	34学科等
⑤その他の取組	17学科等

問7：質問6で選択した「⑤その他の取組」の概要（自由記述）

- チョークやホワイトマーカーを用いた板書方法の指導
- ペンタブ等のデジタル機器を活用した書字方法の指導
- タブレットPC等による筆順等の指導

問8：質問5で②実技の取組なしを選択した大学等における実技の取組を実施できない理由（自由記述）

- 授業時間が限られている中で、実技を組み込むことが難しいため。
- 感染症対策のため、オンライン授業が中心となり、実技を取り入れた授業ができなかったため。

※別途書写に関する授業を開講している、専門的事項に関する科目「国語」で実技を取り組んでいると回答した学科が複数あった。

中学校（国語）教諭一種・二種免許状の教職課程における書写の取組状況

対象の大学数及び学科等数：241校313学科等

回答のあった大学等数及び学科等数：216校266学科等

問9：中学校の教職課程における教科に関する専門的事項に関する科目「書道（書写を中心とする）」の必修科目（選択必修を含む。）において書写を扱っている時間のなかでの実技の取組の有無

	回答学科等	266学科等に対する割合	(参考) 前年度の状況
①実技の取組あり	266学科等	100.0%	99.4%
②実技の取組なし	0学科等	0.0%	0.6%

問10：問9で①を選択した場合の実施している取組に含まれる取組（複数回答可）

	回答学科等
①硬筆による取組	200学科等
②毛筆による取組	262学科等
③筆ペンによる取組	31学科等
④水書用筆による取組	29学科等
⑤その他の取組	25学科等

問11：質問10で選択した「⑤その他の取組」の概要（自由記述）

○板書におけるチョーク技法、その予備練習としてサインペンで大きめな文字を書く指導を行っている。
○平仮名、片仮名、漢字の字形・字源を理解した書き方の実技。

問12：質問9で②実技の取組なしを選択した大学等における実技の取組を実施できない理由（自由記述）

回答なし

問13：中学校の教職課程における各教科の指導法に関する科目（国語）において書写を扱っている時間のなかでの実技の取組の有無（自由記述）

	回答学科等	266学科等に対する割合
①実技の取組あり	89学科等	33.5%
②実技の取組なし	177学科等	66.5%

問14：問13で①を選択した場合の実施している取組に含まれる取組（複数回答可）

	回答学科等
①硬筆による取組	66学科等
②毛筆による取組	54学科等
③筆ペンによる取組	11学科等
④水書用筆による取組	6学科等
⑤その他の取組	17学科等

問15：問14で選択した「⑤その他の取組」の概要（自由記述）

○学生の実技力向上のために「わかりやすい板書の書き方」を授業に取り入れた。
○読みやすい板書スキルが身に付くよう模擬授業において指導している。

問16：質問13で②実技の取組なしを選択した大学等における実技の取組を実施できない理由（自由記述）

○授業時間が限られている中で、実技を組み込むことが難しいため。
○感染症対策のため、オンライン授業が中心となり、実技を取り入れた授業ができなかったため。

※教科に関する専門的事項に関する科目「書道（書写を中心とする。）」で実技に取り組んでいると回答した学科が複数あった。